

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成25年5月分)

ご協力ありがとうございました。平成25年5月の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 160社 回答 150社 回答率 93.8%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	11社 7.4% (10.5)	16社 10.7% (17.8)	54社 36.2% (32.9)	47社 31.5% (29.6)	21社 14.1% (9.2)	149社	11社 7.5% (10.7)	18社 12.3% (17.4)	47社 32.2% (32.2)	39社 26.7% (22.8)	31社 21.2% (16.8)	146社
売上高	9社 6.0% (12.5)	18社 12.0% (15.1)	56社 37.3% (33.6)	43社 28.7% (29.6)	24社 16.0% (9.2)	150社	9社 6.1% (10.1)	18社 12.2% (14.8)	48社 32.7% (30.9)	41社 27.9% (24.8)	31社 21.1% (19.5)	147社
在庫数量	3社 2.1% (2.1)	29社 20.0% (21.4)	78社 53.8% (51.0)	28社 19.3% (22.1)	7社 4.8% (3.4)	145社	11社 7.8% (9.2)	27社 19.1% (17.0)	61社 43.3% (45.4)	26社 18.4% (18.4)	16社 11.3% (9.9)	141社
販売単価	0社 0.0% (0.7)	9社 6.2% (9.5)	119社 81.5% (81.8)	15社 10.3% (7.4)	3社 2.1% (0.7)	146社	5社 3.5% (1.4)	16社 11.3% (11.7)	72社 50.7% (51.0)	39社 27.5% (26.9)	10社 7.0% (9.0)	142社
収益状況 (粗利)	4社 2.7% (9.4)	15社 10.2% (11.4)	72社 49.0% (49.0)	37社 25.2% (23.5)	19社 12.9% (6.7)	147社	12社 8.4% (9.6)	17社 11.9% (14.4)	62社 43.4% (40.4)	30社 21.0% (24.7)	22社 15.4% (11.0)	143社
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.9% (5.6)	14社 11.5% (15.2)	65社 53.3% (48.8)	26社 21.3% (24.0)	11社 9.0% (6.4)	122社	8社 6.8% (6.5)	12社 10.2% (13.8)	54社 45.8% (43.9)	29社 24.6% (23.6)	15社 12.7% (12.2)	118社
入出庫の トラック台数	2社 1.4% (2.1)	14社 9.8% (16.2)	72社 50.3% (45.1)	41社 28.7% (31.0)	14社 9.8% (5.6)	143社	4社 2.9% (3.6)	17社 12.3% (15.9)	59社 42.8% (43.5)	38社 27.5% (24.6)	20社 14.5% (12.3)	138社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	1社 0.7% (0.7)	6社 4.3% (7.0)	58社 41.7% (42.7)	40社 28.8% (30.8)	34社 24.5% (18.9)	139社	1社 0.7% (1.4)	48社 35.0% (36.0)	67社 48.9% (54.7)	17社 12.4% (6.5)	4社 2.9% (1.4)	137社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(5月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① ゴールデンウィーク前後は多少の荷動きが感じられていたが、5月中旬以降から様子がガラリと変わり、荷動きがピタッと止まった感じである。一部の板金関連ユーザーでは、今日明日にも機械が止まるのではとの声もある。ここまで動きが無いと、値上げなど程遠く、来月以降もこの状況が続くのであれば、逆に価格対応する流通が現れるのではないか。
- ② アベノミクス発表後、円安に振れて輸出産業は回復するも、その恩恵は中小企業レベルに行き渡らず、むしろ輸入品が値上がりして実態経済は悪くなっている。製造業の海外移転による空洞化が国内材料等の需要を低迷させ、実態経済が良くなってこない大きな原因と考える。
- ③ 太陽光発電関連の高耐食性鋼板は、各メーカーのロールが満杯状況。その他一般材についての荷動きは低調で、値上げできる状況ではない。一部流通には値下げも散見される。値上げ努力はしているが、現状、実績はゼロ。
- ④ 足下の市中価格の変化は見られず、一部建設、産業機械向けの荷動きはあるものの、市況は横這いである。
- ⑤ 好不調の波が大きい。団地を走るトラックが少なく、厳しさはまだまだ続くと思われる、我々鉄鋼業界ではなかろうか。
- ⑥ ゴールデンウィーク明けからも荷動きに変化なく、少量、短納期品が多く、粗利益は若干上がっても、売上増にはつながってこない。団地内のトラックも流通量が減っており、同業他社も量の確保に苦勞していると聞く。6月以降の仕入単価は確実に上昇してくるため、客先への値上げ(値戻し)も喫緊の課題だが、動意は鈍く需要の乏しい中で粘り強く理解を求めていくしかないのではないか。6月3日の日新堺工場の火災事故の影響が、市況反転、財源確保のきっかけになるかも知れない。夏以降の物件情報も入ってきており、金利動向やアベノミクス三本の矢(成長戦略)発表と、フォローに変化してくると期待感も強い。

中板

- ① 高炉メーカーからの入荷が少なく、市中在庫が減少するも値上げのインパクトにならず、メーカー値上げも需要環境から受け入れ難い状況。陥没価格の早期是正が当面の課題。

厚板

- ① 建材分野の基調は前月と比べて変わらない。下値は徐々に上がってきている状況にはあるが、市中では店売りに結び付く実需が乏しく、数量、価格ともに未だ低レベルで推移しており、需要回復を期待している状況である。当面の大型鉄骨は、夏場以降に動き出すものと思われる。

一般開鋼

- ① アベノミクスの恩恵は見えてこない。職人不足が如実でちょっとした現場が出てきても、現場は困っている。この問題を解決しなければならない。
- ② 前月比で諸調査項目は激減しているが、これは前月が突出した数値につき、通常ベースに戻ったというべきか。5月も4月並みの出荷を期待したが、取引先は小規模工場につき、加工能力に限界があり、未だ納入延期のケースや工場に納入するも、そのまま手付かずのケースもある。この傾向は6月も続くのではないか。7月からの第2四半期に期待する。

HI開鋼

- ① 需要が少なく荷動きは芳しくないが、価格転嫁し切れていない分の市況アップを目指したい。
- ② 需要の回復が見えてこない中、市況も下げ気味になってきている感がある。この流れを止める方策はメーカーが握っている。

異形棒鋼

- ① 5月の店売りは4月と同じく低調だった。直近も盛り上がる気配を感じない。価格も仕入値高で売値が上がらずの状態。様子見が今回は長い。
- ② 新規物件が少なく、市況維持がやっとの状況。高値玉の入荷による粗利益率の低下、販売不振による売上の伸び悩みで採算は悪化。厳しい環境が続いている。

平鋼

- ① 少しずつ荷動きが増えてきているようだが、まだ足下の動きは悪く実感がない。価格も未だ転嫁できていないが、市中の動きは無く、様子見状態。

鋼管

- ① 荷動き自体は全く回復感が無く、市況もやや弱くなりかけている。
- ② 5月の売上は4月に比べて良くなった。しかし、全体的な低需要は相変わらずである。動きの悪さにより値上げは当分見合わせ状態になりそうだ。

構造用鋼

- ① 自動車、建機メーカー等は、円安、復興需要、消費税前倒しで一部生産増の動きがあるものの、店売り市場は依然として低調。価格は各メーカーが値上げに動き始めていることから、これから注目すべきところだ。
- ② 需要環境については、自動車関連は比較的堅調な動きとなっているが、店売りへの波及効果は少ない。建機関連については、鍛造部品メーカーの生産は増加しているが、市中の荷動きは未だ押し上がっていない状況である。店売りについては、メーカーの値上げが実施され、市況も下げ止まった状態にあるものの、荷動きが活気づいていない状況の中、横這いで推移している。

その他

<曲げ加工>

- ① 5月は先月より10%程度上昇したものの、材料持ち外注が多く収益状況としては良くない。鉄関係の市場としては、実態が動いてなく非常に不況である。早く活気のある市場になってもらいたいものである。

<スクラップ>

- ① 円高修正で賑わっているが、鉄鋼業に関しては動きが無く、スクラップの発生も低調で、また電炉メーカーも減産で動きが無く、全体的に静止している。

<金属表面処理加工>

- ① 5月は物件物、紐付きとも計画通り。スポットは1件あたりの物量がまとまったものが多く、予定数量より10%増加。先物件の引合い(プラント・橋梁)も増えてきており、第2Q以降はさらに期待できそうである。6月も物件物を中心に安定した操業を予定。原油高騰の影響で5月からシンナー及び一部塗料の値上げが事項された。